

町立病院改築事業 事業者選定プレゼンテーションを一般公開

町は現在、町立病院の改築に向け、設計・施工一括発注による公募型プロポーザル方式により、受託事業者の選定作業を進めています。

新病院に関する町民の皆さんの関心に応えるとともに、審査の公平性・透明性を確保するため、プロポーザル参加事業者による技術提案のプレゼンテーションと審査委員によるヒアリングを一般公開します。

日 時	令和4年1月16日(日) 9時～18時(予定)	会 場	白老コミセン 201号室
申し込み	町ホームページからメール、または下記電話・ファクスのいずれかで連絡してください。		
定 員	30人 ※新型コロナウイルス感染症対策として、定員を超えた場合は抽選とします。		
締め切り	令和3年12月24日(金)		
注意事項	一般参加者は会議の傍聴はできますが、会議中に質問や発言はできません。		

問い合わせ先：政策推進課 都市企画グループ ☎82-8213 ファクス82-4391

都民に白老のアイヌ文化とウポポイをPR ～「大北海道展」開催中の新宿高島屋



多く響く伝統楽器の音に耳を澄まして聴き入っていました。また、アイヌ伝統工芸品、冷凍ハンバーグやタラコ、地元スイーツなどグルメ特産品の物販も大人気でした。担当した町職員は「コロナ禍でも予想を大きく上回る来場をいただき、白老のアイヌ文化や観光の魅力を理解いただけたのでは」と手応えを感じたようでした。

町は10月30、31の両日、都内渋谷区の新宿高島屋2階JR口前の特設会場で、白老地域のアイヌ文化やウポポイ、町の観光・特産品をPRするプロモーションイベントを展開。2日間で約3,000人が来場しました。

イベントには町、白老アイヌ協会、白老民族芸能保存会、観光協会などから計8人が参加。やはり都民の関心を集めたのは保存会会員によるムックリ演奏。心地よく



知っておこう アイヌ文化

エント(セタエント)

イランカラフテ。今年も師走がやって来ました。寒さと忙しさが重なり、体調を崩しやすいこの季節に、今回は自然と共生してきたアイヌ民族の知恵から、風邪や二日酔いなどの薬になるとされ、利用されてきたエント(セタエント)をご紹介します。

エントは日本語で、ナギナタコウジュと呼ばれ、秋になると、紫色の小さな多数の花が穂状に咲き、その形が武具のなぎなたに似ています。白老地方でも、あちこちの草地で見かけるエントは、全草からハーブのような香りがし、アイヌ民族は、その香りが病魔を遠ざけると考えていました。ですから、葉や茎を乾燥させて、煎じたものをお茶にして飲んだり、お粥に入れたりして、体調の優れない時に食べていたと言います。ほかにも、水を入れた徳利にエントの葉で栓をして、狩猟や漁労の際に持って行ったと言い、何日経っても水の味が変わらないことから、防腐剤としても利用されていたようです。



乾燥させたエントの花

チキサニでは、森野地区(ホロケナシ駐車公園向かい)の野草園にて、エントを栽培し、体験交流事業のアイヌ伝統食試食体験などで、エント茶を提供するほか、事務所では乾燥させたエントの展示も常時、行っております。

政策推進課 アイヌ政策推進室 学芸員 森洋輔

問い合わせ先：イオル事務所 チキサニ ☎82-6301